

くらしにやさしい街 … 志木、よりよい環境を未来に残すために

# エコシティ志木通信

2015年6月1日  
(No. 78・創立20周年なにごとかな号)

2015  
\*  
6月

NPO法人エコシティ志木  
代表理事 天田 眞  
〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108

<http://kappa-no.net/eco-shiki/>



写真：天田 眞

志木につらなる川の風景 (6)

## 柳瀬川・空堀川合流点

柳瀬川の金山調節池前から上流に向かって進められてきた改修工事は、小金井街道の清瀬橋上流側の空堀川合流点まで完了しています。現在、その合流点から空堀川に沿って300mさかのぼった場所で、柳瀬川を空堀川につなぎ、柳瀬川の大きな蛇行を直線化する工事が行われています。写真は現在の合流点で、正面前方から流れてくるのが柳瀬川、左側から空堀川が合流し右手に流れています。新合流点の工事が完了すると、写真の空堀川は新柳瀬川になりますが、蛇行した現在の柳瀬川も廃川にせず残されます。(天田 眞)

## 2014 年度の報告と 2015 年度の予定

### ● 2014 年度の活動報告

#### ◆環境、施設の保全・管理及び創出事業

①里山の手入れ：「いろは親水公園こもれびのこみち」「西原ふれあい第三公園」の2か所の斜面林の日常管理作業（清掃、落葉掃き、下刈、中低木の除伐・剪定、急斜面の保護、希少植物の保全等）を行いました。（3回/月）

②河川敷の清掃：県の「川の国応援団」の河川清掃活動として、柳瀬川右岸志木中学校付近と新河岸川右岸富士下橋下流の2か所で河川敷のごみ拾いを行いました。（1回/月）

#### ③外来植物駆除事業

(a) いろは親水公園左岸ゾーン内「ヨシ・オギ群落保全地」保全作業：カヤネズミやオオヨシキリなど希少生物の保護のため、オオブタクサの駆除作業を行いました。（4回）

(b) 柳瀬川・外来植物駆除作戦：志木中学校生徒100名以上の参加も含め、柳瀬川右岸東上線から富士見橋下流のアレチウリ・オオブタクサの駆除作業を行いました。（2回）

#### ◆調査、研究事業

①柳瀬川生きものウォッチング：柳瀬川右岸富士見橋～高橋及び富士見市水谷田んぼで動植物の調査を行いました。（1回/月）

②県民参加生きものモニタリング調査：埼玉県の実業に参加し、上記①の活動で得られたデータを提供しました。

③身近な川の一斉調査：「新河岸川水系」と「全国」の調査に参加しました。雨のため日程変更し、調査地を減らして実施しました。（1回）

④埼玉県内一斉ガンカモ調査：埼玉県生態系保護協会志木支部の柳瀬川志木大橋～新河岸川合流点の調査に協力しました。（1回）

#### ◆観察会及び学習・教育事業

①柳瀬川であそぼう：親子向けの魚捕り体験等の川遊びイベントを実施しました。（1回）

②自然観察会：大人向けの観察会として、新河岸川のいろは親水公園で「五感で感じる川のまち志木」（春・秋）を、柳瀬川で「冬の野鳥観察会」を開催しました。（3回）

③「カヤネズミ原っぱ環境応援作戦」（SAVE JAPAN プロジェクト 2014）：いろは親水公園「ヨシ・オギ群落保全地」で、カヤネズミの生息環境保全への意識醸成を図る親子向けのイベントを行いました。（2回）

④野火止用水ぶらり散歩：野火止用水と玉川上水を4回で歩くシリーズの前半として、志木駅～玉川上水駅まで歩きました。（2回）

⑤小学生の環境学習への協力：小学校の総合学習やクラブで講師を務め、地域団体の柳瀬川での生き物調査に協力しました。（7件）

⑥市民講座等での講師・事例発表：講演会・シンポジウム等で講師を務めました。（2件）

⑦ボランティア・NPO 体験者受け入れ：社会福祉協議会のボランティア体験事業で中学生を受入れました。（1人）

⑧催物への出展：地域の催事等に参加し、出前水族館やどんぐり・落葉工作、活動紹介展示や資料配布等を行いました。（7件）

#### ◆出版、広報事業

①エコシティ志木通信の発行：本紙とイベントカレンダーを年4回発行しました。

②ホームページ管理：エコシティ志木ホームページ及びブログで情報発信を行いました。

③活動紹介展示：催事で当会の活動状況の展示を行いました。（4件）

◆エコミュージアム事業：「志木まるごと博物館 河童のつづら」のホームページに情報の蓄積を行いました。

### ● 2015 年度の主な取り組み

14年度事業は全て15年度も継続し、新規事業としては次のものを予定しています。

①（仮称）『志木のいきもの図鑑』刊行事業：市内や周辺部で見られる身近な動植物についてのミニ図鑑で、市内の自然豊かな場所の紹介も含め、15～16年度事業で刊行します。

②志木ぶらり散歩マップ改訂版刊行事業：08年度に発行したマップの改訂版を刊行します。

（代表理事：天田 眞）

## 3月15日（日）野火止用水ぶらり散歩（2） 清瀬から玉川上水へ

前回の終点、清瀬駅をスタートして水道道路の交差点に向かう。新座市域が嘴のように伸び、新座・清瀬市・東久留米三市境界となっている。

用水路は、ほとんどは幹線道路に沿っているけれども、レンガ風に舗装された歩道があり、水量は豊かで、気持ちよく歩ける。土手の保護工が区間ごとに変わるのはどんな理由だろうか。

万年橋の大ケヤキは圧巻。開鑿当時既に大木だったとの伝説によれば、樹齢はいかほどかと思われる。恩田野火止水車苑には水車が復元されており（動いていない）、樋を引いて上から水を落とす方式になっている。新青梅街道から西武多摩湖線八坂駅高架を潜るまでの間は暗渠。用水路と都営アパートに囲まれた九道の辻公園で昼食を摂り、一服。あと半分というところ。

小平市内は、緑地や住宅地の中を流れることが多く、癒しの空間である。野火止緑地の上流端に、



【写真：毛利将範】

清流復活の碑と（下水処理水の）放流口、以後玉川上水までは暗渠となっている。

玉川上水下流部の下水処理水湧出口は自然を模して造られ、勢いよく流れだしている。つい手を浸したくなるような雰囲気である。小平監視所、沈砂池を見て、玉川上水駅にて解散。お疲れさまでした。早咲きの桜、土手の草花、カルガモの番？も何組か見られ、楽しい一日を過ごしました。

（鈴木民雄）

4月25日（土）わっか祭  
5月10日（日）子どもまつり

## お祭りに参加しました

志木ニュータウン中央公園で開催された第4回『わっか祭』と第22回『子どもまつり』はどちらも天気にも恵まれ盛況でした。当会は今年も「柳瀬川水族館」展示と「ドングリ工作」を行いました。

柳瀬川の魚達。橋の耐震工事等の影響か、最近では志木中学校前で捕れる魚の数が減っているようです。それでも水槽の周りには子供達が次々に集まって、エビやヌマチチブ等の可愛さに釘付けでした。途中テナガエビが脱皮して、長い前脚の形そのままの、透き通った抜け殻が水の中で光っていて綺麗でした。脱皮の最中を観察出来た子供達はきっと、ドキドキだったでしょうね。お祭りの終わりに男の子が、嬉しそうに持って帰りましたよ。

ドングリ工作は、やっぱり時間の経つのを忘れてしまいます。子ども同士で絵皿や筆を貸し合ったりしながら、どんどん色鮮やかな作品が出来上がってゆきました。風のいたずらでお皿がひっくり返されても、「ワアッ！」って楽し



【写真：毛利将範】

い。風のお陰であつという間に乾いたし…力作を持って帰られるご家族の笑顔を見送るのは、最高です。

これからも身近な川や緑、生き物、地域の人々にも触れ合って、楽しんでいきたいですね。スタッフの皆様、お疲れ様でした。（大田文佳）

4月21日(日) 斜面林見学会(西原ふれあい第三公園)

## 春の芽生え眩しい西原斜面林を見学しました

西原斜面林(西原ふれあい第三公園)の見学会を4月21日に行いました。

午前9時からエコシティ志木会員他7名で、10時半から志木市環境市民会議のメンバー7名と環境推進課職員2名で行いました。環境市民会議のメンバーの根本さんからは感想をいただきました。

この公園は西原土地地区画整理事業として昭和59年から平成21年3月末までに実施されて出来た公園の一つで、面積は約7,100㎡(2150坪)あります。エコシティ志木では平成15年頃から月1回清掃、下草刈り、土止め作り、落ち葉堆肥作り等を行ってきました。

公園ができる過程で、当会は自然の状態を出来るだけ多く残すように働きかけましたが、実際には3分の2が都市公園の形態で、昔のままの状態は3分の1程でした。公園は平成21年4月に志木市へ移管され、同時に当会は「公園美化活動会」の制度を利用して手入れを月2回行っています。

(山崎光久)



### 西原ふれあい第三公園を見学して



去る4月21日、心配していた天候も薄日が差しはじめ、志木市環境市民会議委員7名と市環境推進課職員2名にて山吹咲き誇る西原ふれあい第三公園斜面林を見学した。

天田さんから日頃の手入れの話聞き、以

前からある常緑樹の大木、手入れの追いつかない竹の根の広がり、斜面の土崩れを補うため竹と落ち葉を使った土留めなど、自然の状態を残すため、あまり手を加えない環境づくりの様子を知る。

大木の根の張り方に目を奪われたり、その下には中低木の青木など、そして下草として、春欄、ホウチャクソウ、すみれ、シャガなど、気を付けてみると大変かわいい草花なども個性を発揮していた。普段あまり気にしていない身近な里山にも、こんなにいろいろな樹木、草花などが息吹いており、自然環境を豊かにしてくれていることに改めて気づき、その手入れをされているメンバーの皆様本当にご苦労様です。

根本マサ子(志木市環境市民会議委員)

4月19日(日) 志木の自然観察会(春)

## 五感で感じる川のまち志木

「ざらざら、つるつる、  
やわらかい、かたい……」  
これは何のことでしょう  
か？

実は春の自然観察会の掲  
示用ポスターに使った表現  
なのです。

今年は、植物にさわって、  
感じて、自然をゆったり楽  
しみながら、柳瀬川・新河  
岸川を散策するという企  
画で行いました。春は小さ  
い草が多いのですが、よく  
目にする草やありふれた草  
も、手で触ってみると違っ  
た植物に会った感じがしま  
す。

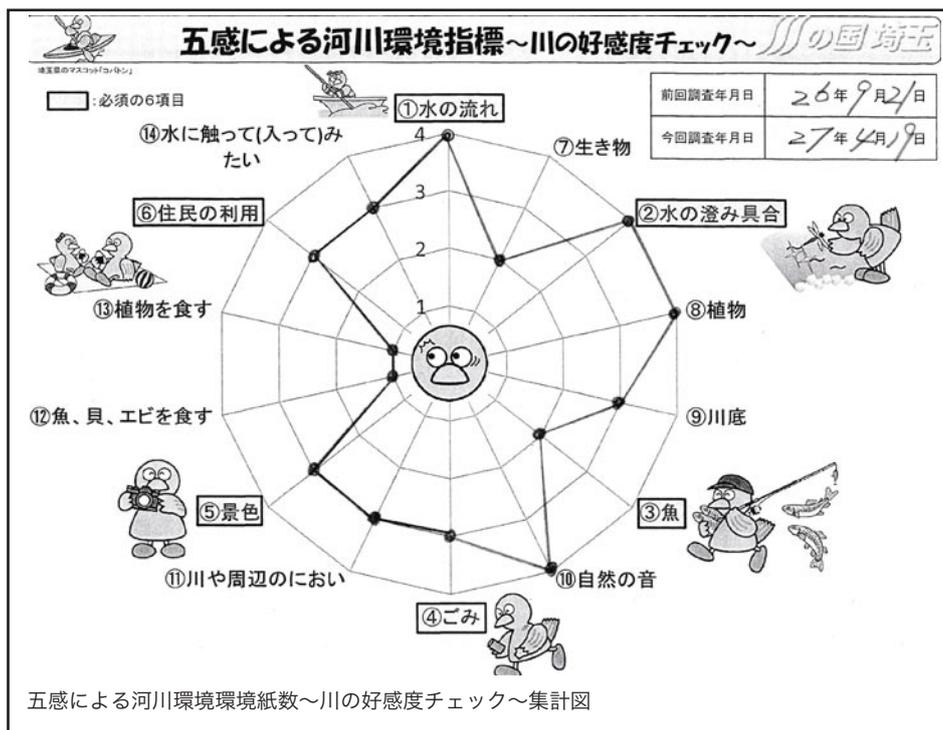
触ってみるとじつは茎が四角であったり、葉に  
は毛がはえていたり、またつるつるしたり、柔ら  
かい葉や硬い葉などと、さまざまな発見が楽しめ  
ました。

コースは、柳瀬川駅を出発して富士見橋を渡っ  
て柳瀬川左岸に行き、川原をしばらく歩きました。  
ここではヒメオドリコソウの茎に触ると四角であ  
ったり、ハコベにもけっこう毛があったり、セイ  
ヨウカラシナ等々の葉や茎の感触を楽しみました。

川原から水辺近くに下りて、水を見ながら柳瀬  
川の現在や歴史の話、上流から運ばれる土と小石、



旧新河岸川沿いを歩く参加者たち



またこれら川や川原の掘削整備工事などの話を聞  
きました。

その後、土手に上がり、田植えの少し前の水谷  
田んぼに下りて、鳥の説明がありました。

鳥の鳴き声にもいろいろあって、危険に対する  
警戒の鳴き声、また求愛や小鳥が餌をねだる時の  
甘えた鳴き声、聞きなしの例などにより耳をすま  
して聞いてみました。

水谷たんぼを過ぎ水谷小学校の横を過ぎ、昔  
の新河岸川の蛇行していた名残の川原を歩きまし  
た。(この一帯は公園になっています)

これらの川の歴史の説明を聞きながら新河岸川  
の昔の姿を想像し、現在の新河岸川との合流点で  
ある別所ポンプ場につきました。ここから新河岸  
川の見晴らしの良い土手を歩き、志木市役所を過  
ぎ、最終地の旧村山快哉堂着きましたが、見てき  
た柳瀬川と新河岸川の違いが大きいことに驚いた  
人が多いようでした。

最後に旧村山快哉堂で、五感による河川環境  
指標にチェックをしましたが、2つの川を同時に  
チェックすることになってしまい、記入しにくい  
印象が残りました。

(加藤健二)

# エコシティ志木誕生の背景

NPO法人エコシティ志木理事

毛利 将範



志木市の地図を囲んでのワークショップ(1995年)

エコシティ志木は今年で20周年の節目を迎えます。

今号から4回にわたり当会20年の歩みを綴り、試行錯誤しながら思いを形にしてきた活動を振り返り、今後に役立てたいと思います。

## 1. エコシティ志木の誕生

エコシティ志木が発足したのは1995年10月。市教育委員会が主催した環境大学講座の受講者などが中心となり結成しました。「緑豊かな循環する社会」「市民参加のまちづくり」を目指して観察会やワークショップを重ね、1998年に『市民がつくる志木市の環境プラン』を発表。その後、志木市が策定することになる「志木市環境基本計画」で、エコシティ志木のメンバーは中心的な働きをしました。このような活動は全国的にも珍しく、市民参加型の環境基本計画策定事例として全国から注目を集めました。

今号では、志木市の時代背景などにも触れながらエコシティ志木設立への経緯を紹介します。

## 2. 志木市の概略

志木市は人口約73,000人、面積9.06km<sup>2</sup>。市内を荒川・新河岸川・柳瀬川の3本の川が流れ、荒川低地の宗岡地区と柳瀬川低地と武蔵野台地の志木地区という3つの特徴ある地形により形成されています。

江戸時代から明治にかけて新河岸川舟運で商業の街として大いに栄えました。都心へのアクセスも良く現在はベッドタウンとして市域のほぼ全てが住宅街になっていますが、3本の川、荒川沿いの荒川堤外、台地と低地の境に形成された斜面林に残された林などが市民にとって貴重な自然環境となっています。

## 3. 志木市の環境に関する動き

高度経済成長期の1960年代後半、市内を流れる川は生活排水などで汚れ洗剤の泡が花吹雪のように舞い、川に捨てられたごみを伝って、因幡の白兔よろしく猫が川を渡る光景があったそうです。川とともに栄えた町が、高度経済成長とともに川に背を向けてしまった。この光景を憂い1972年に「川と街をきれいにする運動推進協議会」が結成され川をきれいにする全市的な取り組みが始まりました。また、85年に市長の私的諮問機関として「21しき市民会議」が発足。任期2年で、任期終了後もメンバーたちは任意団体として環境に関連する活動などを継続して行っています。つまり2年ごとに任意団体が誕生するきっかけとなったのです。

このように、日本経済が安定期に入ると人々は

精神的な豊かさを求め、広がる深刻な環境問題に目を向けるようになってきます。

ただ当時の活動手法は、川に鯉を放流する、河川敷でアイガモを放し飼いにする、コスモスなどの特定の花を土手に植えるといった現在から見ると問題のある自然へのアプローチでした。が、当時はこのような活動が自然と触れあう機会の創出として支持され、マスコミで報道されたり国や県から表彰されたりもしています。

#### 4. 市民のネットワークができる

上記のような志木市における環境に関する取り組みが評価され、93年に「環境教育推進モデル都市」（文部省：当時）に指定されます。

学校・町内会・環境団体などが参加する「環境教育推進実行委員会」（委員長：西川武重郎）が設置され、環境シンポジウム（全国大会）、環境フェア、環境大学講座などの事業が展開されました。

これらの事業には、上記で紹介した環境関連団体・街の有力者・キーマンのほかに、下記で紹介するような新しい環境グループや個々で活動していた市民も参加し、知り合う場となり環境に関するネットワークができてきました。

#### 5. 身近な自然をまもる

この頃、身近にある地域固有のありのままの自然を保全し楽しもうという活動が、おもに志木ニュータウンに象徴されるような70年代後半から80年代にかけて志木市に移り住んだ人たちを中心として始められています。

92年に（財）埼玉県生態系保護協会の志木支部（当時の支部長：岩上弘）ができ、野鳥観察会など市内の身近な自然に親しむ自然観察会を市教育委員会や学校と協力して行うようになりました。また、地元の農家と連携した農業体験（「志木子供たちに自然を残す会」〈代表：松本ちさえ〉）、

農薬を使わない植栽管理の提案、志木ニュータウンの一部街区で出た落ち葉を全て堆肥にして活用するなどの試みも先駆的な活動でした。

#### 6. 環境大学講座で学びあう

私は86年に志木市に越してきて、子育てを経験するうち地元の自然環境に興味を持ち、埼玉県生態系保護協会志木支部の設立に関わりました。

そんな私にとって、志木の環境について学べ、環境に関わる人たちと知り合える環境大学講座は特に新鮮な体験でした。全5回のその講座では、講義を聴くだけでなく、街に出て市内の特徴的な環境を見、それについて詳しい市民から話を聞き、施設を訪問し職員に話を聞き、そしてワークショップで情報や考え方を共有する。この参加型の講座でいつの間にか志木についていろいろな情報が集まってきます。

講座は2年続き、3年目には「環境活動リーダー養成講座」、さらに4年目には受講生が講座を企画・運営しました。

95年に講師の森良さん（エコ・コミュニケーションセンター）から「せっかく市内の環境グループのリーダー格の人が集まっているんだから、志木市の環境基本計画をつくるにはどうしたらいいかというワークショップを企画しませんか」という提案がありました。

有志があつまり相談を重ね、「市民が環境基本計画をつくるにはどういうプロセスが必要か」というワークショップを2日間にわたって行いました。このワークショップには市民や市職員など33名が参加し、任意団体「エコシティ志木」誕生の原型となりました。

さて、紙数が尽きましたが、次号では会の立ち上げと、自然・ゴミ問題・福祉などと幅広く取り組んだ当初の活動について紹介します。



地元の農家と一緒にさつまいもづくりを体験する



志木ニュータウンでの落ち葉堆肥づくり



ワークショップの一場面

5月3日(日) カヤネズミ原っぱ環境応援作戦

## いろは親水公園「ヨシ・オギ群落保全地」の保全作業

いろは親水公園「ヨシ・オギ群落保全地」の保全作業。今年第1回目の作業をおこないました。スタッフ7名で、オオブタクサを約13,000株抜きました。今年もカヤネズミは繁殖してくれるのでしょうか。

オギとヨシは、高いものは1mほどに育ち、オギの間にびっしりと、そしてオギが生えていない場所には群落となってオオブタクサが育っています。その高さはまだ80cmほどですが、葉を大きく広げて成長のためのエネルギーを吸収しているようでした。

オギ・ヨシの他には、アメリカフウロの薄紫色やオヘビイチゴの黄色い花が目立ちました。クワの実の一部赤くなりかけているものもあります。クワの木ではホオジロが囀っていました。他にキ



ジ、ウグイスの声が聞こえ、ツバメ、オナガ、ムクドリなどが往き来していました。

(毛利将範)

## 「NPO 法人 PR の広場」へ出展



平成25年4月1日から、NPO法人の管理事務が、埼玉県から志木市に移管されました。

この事を機に、市内のNPO法人の活動を広く市民に知ってもらう事を目的として、「さく

らフェスティバル」(3月29日開催)の会場に「NPO法人PRの広場」が設けられました。昨年に引き続き、エコシティ志木の活動案内の写真パネルを展示しました。

今年は、昨年作成したエコシティ志木の幟旗も立て、当会の存在を大きくPRするに役立ちました。設営に手間を掛けた甲斐もあり、テントの中にまで足を踏み込んで、見てくれた人は、昨年より大分多く、机に並べた通信等の資料も持ち帰ってくれました。

立ち寄ってくれた方々に、当会の説明をさせてもらいましたが、それなりの関心を持っていただいて、とても良かったです。

(青木明雄)

## 仮称『志木市いきもの図鑑』プロジェクト スタート

エコシティ志木20周年事業として仮称「志木のいきもの図鑑」プロジェクトの第1回全体会議・発足会を以下のとおりおこないます。

日時：6月7日(日) 14時30分～17時

場所：いろは遊学館、第2研修室

内容：顔合わせ、今回のプロジェクトのコンセプト、今後の進め方など

このプロジェクトは2年間かけて行なう予定です。志木の自然を知る良い機会です。ご参加をお待ちしています。

(青木明雄)

# ● 志木 自然インフォメーション ●

生き物情報は→ ファクス 048-471-4275 e-mail : qwj11624 @ nifty.com (毛利) へ  
ホームページ「発見!! 街の自然」<http://kappa-no.net/sizen-info.html>

- ①ツバメ(1) → 4月2日(木) 朝霞市で、遅いですが今シーズン初[毛利将範]
- ②ツミ(2) → 4月12日(日) 西原斜面林で[毛利]
- ③ウグイス(声) → 4月12日(日) 西原斜面林[毛利]
- ④ツマキチョウ(♀1) → 4月21日(火) 西原ふれあい第三公園斜面林[毛利]
- ⑤ツミ(2) → 4月21日(火) 西原斜面林。この写真はメスのようです[毛利]
- ⑥イカル(声) → 4月26日(日) いろは親水公園こもれびのこみち斜面林[毛利]
- ⑦オオヨシキリ(声) → 4月26日(日) 水谷田んぼで。今シーズン初[山崎光久]
- ⑧ツミ(1) → 5月3日(日・祝) いろは親水公園・こもれびのこみち斜面林[毛利]
- ⑨ツミ(2) → 5月6日(日) 西原斜面林。ツミの交尾を目撃[毛利]
- ⑩ダイショウセリ(1) → 5月6日(日) いろは親水公園・トンボ池[毛利]
- ⑪ヤモリ(1) → 5月8日(金) 志木市本町。我が家の屋上植え込み[青木明雄]
- ⑫コガタズメバチ(1) → 5月15日(金) 西原ふれあい第三公園の東屋近く。女王がひとりで巣作り中。直径6センチ、中に育房が11あり。かわいそうだが、巣材を探しに出かけたところで駆除[天田眞]
- ⑬ツミ(1) → 5月18日(月) 午前中に、西原斜面林で鳴き声[毛利]



④ ツマキチョウ [毛利]



⑤ ツミ [毛利]



⑫ コガタズメバチ [天田眞]



⑪ ヤモリ [青木]



⑧ ツミ [毛利]

## 環境 ひとくちメモ (36) 伊藤 智明

### 「スーパークールビズ」

### SUPER COOLBIZ

COOLBIZ COOLBIZ

環境省では、冷房時の室温 28°C でも快適に過ごすことのできるライフスタイル「クールビズ (COOL BIZ)」を推進しており、本格実施となる6月1日から9月30日までは「スーパークールビズ」を率先して実行しています。皆さんもスーパークールビズで快適な夏を過ごしましょう。

#### 【スーパークールビズ～5つの取組～】

- COOL FASHION 夏を涼しく過ごすために軽装で
  - ・アロハシャツ、ポロシャツも活用した軽装の強化
  - ・うちわ、扇子や日傘でちょっとした暑さをしのぐ
- COOL HOUSE 設備や機器を利用して快適に
  - ・窓のブラインドや遮熱シートの活用
  - ・グリーンカーテン、すだれやよしずの設置
  - ・こまめな室温確認で熱中症予防も

- COOL IDEA ちょっとしたアイデアで涼をとる
  - ・朝や夕方の打ち水
  - ・体内から冷やしてくれる食べ物をとる
  - ・冷却ジェルシートや氷のうなどグッズを活用
- COOL WORK 効率的な働き方に見直そう
  - ・勤務時間の朝型シフト
  - ・残業しない
  - ・長期の夏休みをとる
- COOL SHARE みんなで涼しいところ集まろう
  - ・家族でひとつの部屋に集まる
  - ・自然が多い涼しいところで過ごす
  - ・公共施設を活用する
  - ・カフェ、レストランなどを活用する

出典：環境省 報道発表資料 平成 27 年 5 月 15 日  
「平成 27 年度スーパークールビズの実施について」<http://www.env.go.jp/press/100970.html>

## ☆会員状況

2015年度更新済み(5月22日現在)

正会員(個人) 40  
 正会員(団体) 1  
 賛助会員 1

★本会の財政基盤は、会員の方の年会費が頼りです。  
 ★今年度も継続更新をよろしくお祈りします。



### ■当会の団体正会員

志木おやこ劇場  
 生活クラブ生協志木支部

### ■当会の団体賛助会員

慶應義塾志木高等学校  
 志木柳瀬川ロータリークラブ

### ■当会が参加している団体・ネットワーク・登録制度、及び協力団体

志木おやこ劇場  
 いろは遊学館利用者の会  
 志木市コミュニティ協議会  
 志木市社会福祉協議会  
 柳瀬川流域ネットワーク  
 新河岸川水系水環境連絡会  
 新河岸川流域川づくり連絡会  
 柳瀬川流域水循環再生市民懇談会  
 新河岸川広域景観づくり連絡会  
 彩の国南西部地域NPO連絡会  
 川の国応援団  
 埼玉県生物多様性保全活動団体登録  
 彩の国みどりのサポーターズクラブ  
 志木市公園美化活動会  
 埼玉県生態系保護協会志木支部  
 志木のまち案内人の会  
 志木市放課後子ども教室りんくすグループぼんぼこ  
 志木市立教育サポートセンター  
 市内小中学校

**情報満載!**  
**当会のホームページ**

NPO法人エコシティ志木  
<http://kappa-no.net/eco-shiki/>  
 志木まるごと博物館河童のつづら  
<http://kappa-no.net/>

## 2015年度 役員

代表理事 天田 眞  
 理事 青木 明雄 事務局長  
 伊藤 智明  
 加藤 健二  
 筑井 信明  
 毛利 将範 副代表/広報部会長  
 山口 美智江 副代表  
 山崎 光久  
 監事 宇津木 美恵子  
 松田 勝正

## 2015年度 予算 (2015年4月1日～2016年3月31日)

特定非営利事業に係る事業(今年度の収益事業計画はありません)

●収入 (単位:円)

科目	予算額	備考
1 会費等収入	160,000	
個人会費	130,000	
団体会費	10,000	
賛助会費	20,000	
2 事業収入	200,000	
保全・管理・創出	40,000	斜面林管理報奨金
調査・研究	60,000	生き物調査費
観察会・学習・教育	100,000	謝金、参加費、資料代等
出版・広報	0	
エコツアー	0	
提言	0	
3 助成金収入	200,000	
行政	0	
その他	200,000	
4 雑収入	20,000	
寄付金等	15,000	
その他	5,000	
5 収益事業より繰り入れ	0	
当期収入合計	580,000	
前期繰越金	1,104,756	
収入合計	1,684,756	

●支出

1 事業費	470,000	
保全・管理・創出	20,000	斜面林管理、外来種駆除等
調査・研究	10,000	生き物調査等
観察会・学習・教育	150,000	観察会・備品制作費等
出版・広報	65,000	エコ志木通信、(仮)志木の自然
エコツアー	210,000	志木散歩マップ改訂版発行
提言	5,000	
保険料	10,000	
2 管理費	205,000	
租税公課	0	
旅費交通費	2,000	
通信運搬費	2,500	
消耗品費	1,500	
給与手当	0	
事務局経費	160,000	事務局分散運営費
印刷費	2,000	議案書等
参加団体会費	17,000	6団体
雑費	10,000	
会議費	10,000	運営会議等会場費
3 予備費	5,000	
当期支出合計	680,000	
当期収支差額	△100,000	
次期繰越金	1,004,756	

ニンジンやパセリ等のセリ科の葉を食べるのはキアゲハの幼虫。細かく切れ目が入ったニンジンの葉に似せて緑と黒のしま模様になっています。

イモムシとは狭義にはイモ類の葉を食べるスズメガの幼虫のことで、どれも巨大になります。サツマイモ等のヒルガオ科の葉を食べるのはエビガラスズメで、成虫の腹部背面にエビのような模様があります。ヤマイモを食べるのはキイロスズメ、サトイモを食べるのはセスジスズメ。セスジスズメはサツマイモやヤブカラシも食べます。

ジャガイモやナス等のウリ科の葉を食べるのはニジュウヤホシテントウ。オレンジ色の背中に黒い点が28個あり、幼虫はとげが沢山生えています。テントウムシがアブラムシを食べるのはよく知られていますが、葉を食べるテントウムシもいるのです。動物食のテ

ントウムシは背中に光沢がありますが、植物食のテントウムシは背中に細かな毛が生えていて光沢がありません。

エダマメ（ダイズ）のさやができてくるとカメムシが汁を吸いにやってきます。（アオクサカメムシ・ブチヒゲカメムシ・ホソヘリカメムシ等）カメムシに吸汁されると豆の成長が止まり不味くなります。5mm位のマルカメムシもやってきますが、これは枝から吸汁するようです。エダマメで最も被害が大きいのは、さやの中に入り込み豆を喰ってしまうシロイチモジマダラメイガという小さな蛾の幼虫です。葉を食べるのは12mm程のマメコガネ。背中が茶色で胸頭部が緑色の小型のコガネムシで、名前の通り豆類によく集まりますが、うちの畑ではモロヘイヤの葉も食べています。幼虫は土中で根を食べて、秋から春まで暮らします。



キアゲハの幼虫



背中を見せたエビガラスズメの成虫



キイロスズメの幼虫



模様が楽しいセスジスズメ



艶のないニジュウヤホシテントウ



アオクサカメムシ



ブチヒゲカメムシ



小さく艶があるマルカメムシ



いろいろな植物にいるマメコガネ



地球と日本の自然 (17)

## 火山爆発予知の現状

加藤 健二

前号では御嶽山の水蒸気爆発に触れましたが、今度は箱根大湧谷で水蒸気爆発の危険性増加が報道されており、御嶽山爆発に続いて火山国日本の変動に驚いています。

ところで阿蘇山や霧島山はマグマ爆発と言われますが、マグマ爆発は地表近くに上昇してきたマグマが岩石を溶融しながらそのエネルギーを爆発させるもので、爆発力の大きさと火山灰による人々への影響は長期になり、かつ甚大なものとなります。水蒸気爆発はマグマ近くの地下水が熱せられて、行き場のなくなった水蒸気が爆発するものですが、両者を比較すると比較的狭い範囲でありかつ短期的な影響と言えます。

今号では主にマグマ爆発の予知の現状について技術的な部分を報告したいと思います。

### ・透過宇宙線を利用しマグマの地表への上昇を測定する方法

身体を透過するレントゲン検査のような原理で、地殻を透過する宇宙線を利用し、マグマと地殻との透過度の違いを計測し、マグマの上昇を推測します。

### ・人工的地震発生によるマグマの測定

人工地震を発生させ、火山の反対側に設置した地震計でこの揺れを測定します。地殻とマグマの地震波の速度の違いを比較し、マグマの上昇を推測します。



### ・高精度傾斜計で近くの傾斜変動を測定

マグマの上昇で地殻が膨張し、ごく微細な傾斜の変化を測定します。この測定により、マグマの上昇を推定します。

### ・火山性ガスの測定

火山では多種のガスが発生しますが、この中で二酸化硫黄や硫化水素などのガスを継続測定し、その変化と火山爆発との関連で予測していくものです。

項目4は水蒸気爆発のケースでも測定されており、大湧谷ではこれに地表の膨張や微細火山性地震なども計測されています。

これらの測定法はまだ歴史が浅く、測定機器の誤差もあり、現実の爆発を予知するにはデータの蓄積が少ないと言えますが、科学的な測定の実際と爆発予知の可能性を示すものとして紹介いたしました。地震予知も含め、変動する地球の把握には時間が必要と思われます。

\*写真はマグマ爆発の例としてハワイのキラウエアー火山を使わせていただきました。

### 編集後記

◇今号から4回、当会の設立から今の活動までを紹介します。◇当時の記録を読み返してみると、各地の環境基本計画づくりで声がかかり北海道から九州まで事例報告にでかけていました。◇市民参加について当会から学ぼうということでしたが、逆にこちらがとても学習させられたことを思い出しました。(梟)

## エコシティ志木通信

第78号 2015年6月1日

〈発行〉

### NPO法人 エコシティ志木

〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108

電話/FAX 048-471-1338 (天田眞)

URL <http://kappa-no.net/eco-shiki/>

E-mail [eco-shiki@ff.e-mansion.com](mailto:eco-shiki@ff.e-mansion.com)



エコシティ志木  
の

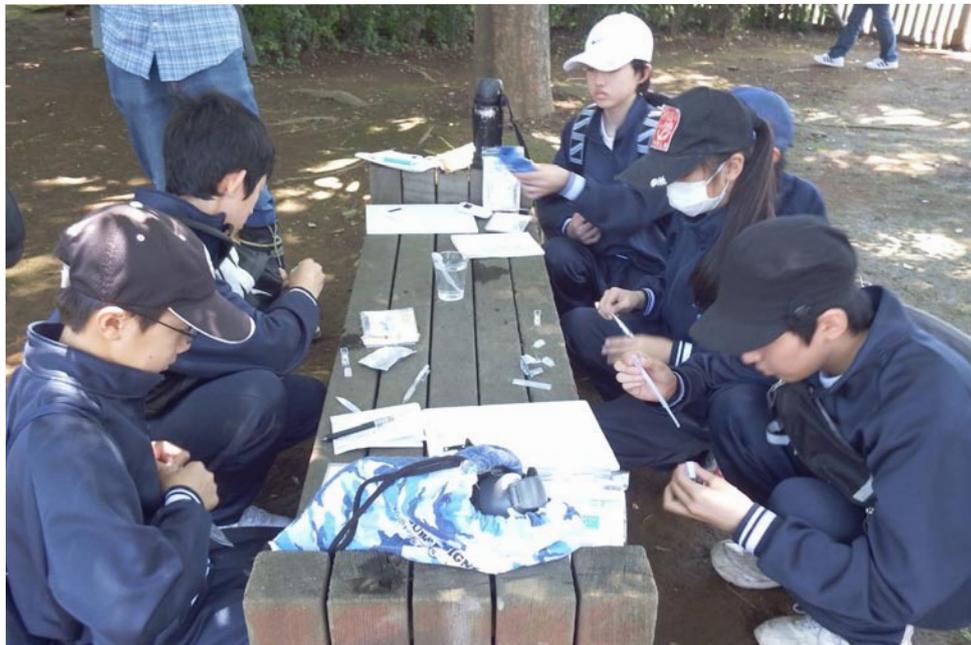
# イベントカレンダー

だれでも  
参加できるよ!



2015年

6月→9月



「身近な川の一斉水質調査」(昨年6月14日)のようす <写真:青木明雄>

親子で自然を楽しみたい人  
地域の環境を守りたい人  
志木まるごと博物館を楽しみたい人 ……

会員募集中



■年会費■

正会員 個人 2,400円 団体 5,000円  
賛助会員 1口 5,000円

■入会方法■ 郵便振替等で年会費を納入してください  
<振替番号>00510-4-13225 <加入者名>エコシティ志木

NPO法人エコシティ志木

〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108  
電話/FAX 048-471-1338 (天田真)

【ホームページ】 <http://kappa-no.net/eco-shiki/>  
【Eメール】 [eco-shiki@ff.e-mansion.com](mailto:eco-shiki@ff.e-mansion.com)



- 特に記載のない場合、申込不要・参加費は無料です。
- 予定は変わることがあるので、事前に問いあわせてください。
- 会員には毎月メール及びハガキ等で、別途行事案内をしています。

## ■ボランティア活動に参加しよう

### ◆斜面林の手入れ（場所は市内の2か所です）

- 【時間】9時30分～11時30分（雨天中止）
- 【持物】軍手、作業できる服装（長袖・長ズボン・帽子）  
あれば剪定用ハサミ・ノコギリ
- 【主催】NPO 法人エコシティ志木
- 【協力】埼玉県生態系保護協会志木支部&志木市都市計画課

### <西原ふれあい第三公園>

- 【日程】6月14日（日）・30日（火）/7月12日（日）・25日（土）  
8月9日（日）・22日（土）/9月13日（日）・23日（水・祝）
- 【集合】9時30分に東上線側入り口の坂を登ったところ
- 【内容】公園の清掃・下草刈り・保全等の作業を行います。

### <いろは親水公園こもれびのこみち>

- 【日程】6月28日（日）/7月20日（月・祝）  
8月23日（日）/9月26日（土）
- 【集合】9時30分にいろは親水公園「こもれびのこみち」あずま屋
- 【内容】「こもれびのこみち」斜面林および新河岸川河川敷で、  
ごみ拾い・下草刈り等の作業を行います。

### ◆いろは親水公園「ヨシ・オギ群落保全地」の保全作業

- 【日程】6月17日（水）、7月7日（火）、8月4日（火）  
9月6日（日）（雨天中止）
- 【時間】9時～11時30分
- 【集合】富士下橋左岸に9時集合
- 【内容】ヨシ・オギ群落保全地域の外来植物の抜き取りを行います。
- 【持物】作業できる服装（長袖・長ズボン・帽子）水筒、タオルなど
- 【主催】NPO 法人エコシティ志木

### ◆柳瀬川・外来植物駆除作戦

- 【日程】①志木中学校生徒ボランティアとの協働  
7月2日（木） 14時30分～16時30分（小雨決行）  
②一般対象  
7月5日（日）/8月2日（日） 9時～11時（小雨決行）  
（集合）9時に柳瀬川右岸の東武東上線鉄橋の下
- 【内容】柳瀬川右岸に於いて、主にオオブタクサ（要注意外来生物）とアレチウリ（特定外来生物）の除去作業を行います。
- 【持物】軍手、作業できる服装（長袖・長ズボン・帽子）、水筒、タオル
- 【主催】NPO 法人エコシティ志木
- 【協力】埼玉県生態系保護協会志木支部



## ■調べてみよう

### ◆柳瀬川生き物ウォッチング<原則毎月第三日曜日>

【日程】6月21日(日)/7月19日(日)

8月16日(日)/9月19日(土)

【時間】いずれも9時~12時(雨天中止)

【集合】9時に富士見橋右岸の花壇のあるところ

【内容】※途中、志木中前で河原のゴミ拾いをします。

柳瀬川と水谷田んぼの約4kmを歩き、動物・植物の調査を行います。

【持物】双眼鏡、あれば図鑑

【費用】200円(会員・中学生以下は無料)※家族は全員で1名扱い

【主催】NPO法人エコシティ志木&埼玉県生態系保護協会志木支部



### ◆身近な川の一斉水質調査

【日時】6月7日(日) 9時~12時30分(小雨決行)

【集合】9時に志木市役所駐車場(志木市中宗岡1-1-1)

【内容】市内8ヶ所の水を採取し、パックテスト等で水質を測定します。

新河岸川水系約250カ所、全国約5,500カ所と連携した調査です。

【主催】NPO法人エコシティ志木

新河岸川水系水環境連絡会、全国水環境マップ実行委員会

【費用】無料



## ■自然と文化を楽しもう

### ◆柳瀬川であそぼう

【日時】7月26日(日) 9時~11時30分(雨天中止)

【集合】9時に志木中学校前の柳瀬川・土手(志木市柏町3-2-2)

【持物】暑いので帽子・水筒、川に入れる運動靴

(長靴・サンダルはダメ) 道具はお貸しします。

【内容】笹舟を作って川に流したり、川を渡ったりします。

また川の魚捕りと虫捕りを行います。

【対象】小学生は志木市在住で定員20名

(小学1年生~3年生は親子で参加下さい。)

※中学生以上は申し込みがなくても参加できます。

【費用】200円/家族(会員・中学生以下は無料)

【申込】小学生はハガキに①児童氏名②学校名・学年③保護者氏名④住所⑤電話番号を記入の上、7月15日(水)までに(当日消印有効)志木市立教育サポートセンター

(〒353-0001 志木市上宗岡1-5-1/ TEL048-471-2211)へお申込み下さい。

申込多数の場合は抽選を行います。

【主催】NPO法人エコシティ志木&埼玉県生態系保護協会 志木支部

【後援】志木市教育委員会(予定)



### ◆志木の自然観察(秋)「五感で感じる川のまち志木」

【日時】9月20日(日) 9時~12時頃(雨天中止)

【集合】9時に旧村山快哉堂前(志木市役所前)、解散も同所。

【内容】秋のいろは親水公園周辺を散策します。

【持物】筆記用具、あればルーペ、図鑑

【費用】会員無料(一般200円/中学生以下は無料)

※家族は全員で1名扱い

【主催】NPO法人エコシティ志木&埼玉県生態系保護協会 志木支部

【後援】志木市教育委員会 生涯学習課



## ◆2月◆

- 22日(日) いろは親水公園こもれびのこみち定例作業
- 23日(月) 志木小学校クラブ発表会感謝集会
- 24日(火) エコシティ志木通信印刷発行作業
- 25日(水) コミュニティ協議会地域活性化委員会
- 28日(土) 西原ふれあい第三公園定例作業

## ◆3月◆

- 4日(水) エコシティ志木臨時運営会議
- 5日(木) 柳瀬川流域水循環再生市民懇談会
- 14日(土) 柳瀬川生き物ウォッチング
- 15日(日) 野火止用水ぶらり散歩第2回(清瀬～玉川上水)
- 17日(火) エコシティ志木定例運営会議
- 22日(日) いろは親水公園こもれびのこみち定例作業
- 25日(水) 志木市コミュニティ協議会理事会
- 25日(水) エコシティ志木臨時運営会議
- 28日(土) 西原ふれあい第三公園定例作業
- 29日(日) 市内NPO法人PRの広場(フリーマーケット会場)

## ◆4月◆

- 7日(火) エコシティ志木定例運営会議
- 8日(水) エコシティ志木広報会議
- 10日(金) エコシティ志木臨時運営会議
- 12日(日) 西原ふれあい第三公園定例作業
- 14日(火) エコシティ志木会計監査
- 15日(水) コミュニティ協議会地域活性化委員会
- 15日(水) エコシティ志木定例運営会議
- 18日(土) 柳瀬川生き物ウォッチング
- 18日(土) いろは遊学館利用者の会全体会
- 19日(日) 志木の自然観察会(春)
- 11日(日) エコシティ志木2015年度第1回理事会
- 21日(火) 西原ふれあい第三公園観察会
- 25日(土) 第4回わか祭(東上線沿線地域協議会)
- 26日(日) いろは親水公園こもれびのこみち定例作業
- 28日(火) エコシティ志木総会議案書印刷発送作業
- 29日(水祝) 西原ふれあい第三公園定例作業

## ◆5月◆

- 3日(日) いろは親水公園ヨシ・オガ保全地外来植物抜取
- 9日(土) 西原ふれあい第三公園定例作業
- 10日(日) 第22回こどもまつり(志木おやこ劇場)
- 10日(日) 新河岸川水系水環境連絡会総会
- 11日(月) 志木の生き物図鑑検討会
- 13日(水) コミュニティ協議会理事会
- 14日(木) 新河岸川広域景観づくり連絡会全体会
- 17日(日) 柳瀬川生き物ウォッチング
- 17日(日) エコシティ志木第13回定期総会
- 18日(月) 志木小学校こどもエコクラブ
- 20日(水) エコシティ志木定例運営会議

## 斜面林手入れに参加しましょう

エコシティ志木は、環境に取り組む団体です。

志木市に残る貴重な斜面林を大切にしたいと思います。斜面林も生き物ですから、春には新しい芽が出て、夏には大きく育ち、秋には枯れ草や落葉の山となります。また、雨水や湧水、そして風や灼熱の太陽や寒い季節の霜や雪で、斜面林も汚れたり、傷んだりしています。更に、生き物の環境も、強い繁殖力や生命力を持った外来植物の攻撃に曝されています。我々の手で、大切に維持管理、更には、よりよく育てていきたいと思っています。その上で、きれいに整備された美しい自然を楽しみましょう。



今年は、エコシティ志木が20周年を迎えます。この記念事業として、(仮称)『志木市いきもの図鑑』の出版を、2年間かけて行ないます。この中で、志木市の自然を分かりやすく説明することも考えていますので、自分で手入れしてみるのも、いい機会ではないでしょうか？皆さんの参加をお待ちしています。

(青木明雄)

みなさんの参加をお待ちしています！

